おおはる 議会だより

No.152

●発　行　大治町議会
〒490－1192
愛知県海部郡大治町大字馬島字大門西１番地の１
ＴＥＬ 052（444）2711（代）　ＦＡＸ 052（444）0086
●編　集　議会広報特別委員会
●発行日　平成28年11月９日

７月臨時会・９月定例会

平成27年度決算 すべて認定

町制施行40周年記念事業 大きな成果

笑顔が咲いた運動会　－ずいよう幼稚園－

平成28年９月定例会は、９月６日に開会し、21日間の会期で行いました。

津島市に消費生活相談などの事務を委託するための規約の制定や、「平成27年度一般会計決算」など、計18議案を可決、認定、同意しました。

なお、７月臨時会は、７月20日に行い、スポーツセンターのキャノピー（２階出入口の屋根）を緊急に修繕するための補正予算を可決しました。

―７月臨時会―

▼スポーツセンター キャノピー修繕工事　**２０００万円**

―９月定例会―

主な補正予算

▼各種予防接種委託料　**４４８万９千円**
B型肝炎予防のため、乳児を対象に、任意接種から定期接種に変わります。

▼災害時特設公衆電話設置工事　**１７６万円**
全避難所の13カ所と救護所に設置します。

▼設計委託料　**２１５万３千円**
公民館３階講堂・体育室の天井が震災時、落下する恐れがあるため、改修の設計を委託します。

工事請負契約

▼東部児童クラブ室新築工事　**６６９６万円**
契約先…㈱加藤建設　工期…平成29年２月24日まで

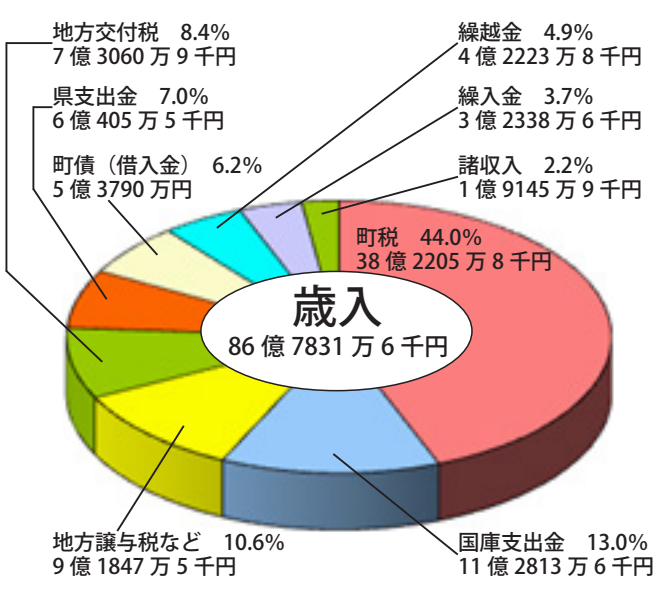
▼公共下水道工事（堀之内地区）　**１億１４４８万円**
契約先…㈱加藤建設　工期…平成29年３月15日まで

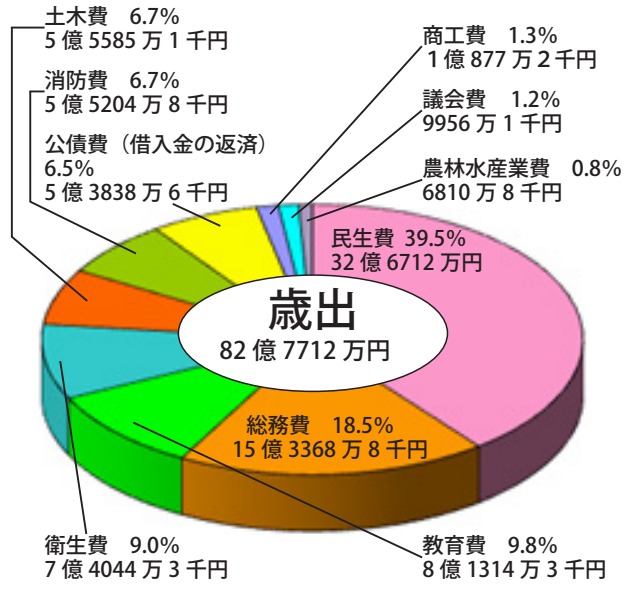
物品購入契約

▼小型動力ポンプ付積載車２台購入　**１１２７万９０６０円**
本部・西條の消防車の購入です。

平成２７年度　一般会計　決算の構成比

（千円未満　４捨５入）





平成27年度決算状況	会計		歳入	歳出
	一般会計		86億7831万5910円	82億7712万　552円
	特別会計	国民健康保険	38億2937万7270円	35億2103万　903円
		土地取得	24万7093円	24万7093円
		介護保険　保険事業勘定	14億5794万5226円	13億9146万6318円
		介護保険　介護サービス事業勘定	1777万9478円	1509万5064円
		公共下水道事業	4億2639万　465円	4億2496万5249円
		後期高齢者医療	4億7383万9016円	4億7342万8216円
	合計		148億8389万4458円	141億　335万3395円

本会議質疑 & 委員会ダイジェスト

平成28年度 一般会計補正予算

◆なぜ 定期接種に

質問 B型肝炎予防接種が、任意接種から定期接種に変わった理由は。

答弁 子どもがB型肝炎に感染すると、肝硬変や肝がんなど、重症化する確率が高い。

予防のため、乳児に定期接種となった。

早めの予防で重症化を防ぐ

◆大丈夫か 安全

質問 公民館の講堂・体育室に、天井の落下防止ネットを設置する設計予算の提案だが、これで安全は確保できるのか。

答弁 大地震が発生した際に、天井が損傷してもネットで落下を防ぎ、安全を確保する。

津島市と大治町との間の消費生活相談等の事務の委託に関する規約の制定

◆どう変わるのか

質問 県が、消費生活相談事業から撤退することに伴い、この事業を津島市に委託する。

相談窓口など、今までと変わらないのか。

答弁 巡回相談が月1回から週1回になり、相談できる窓口が拡充されることになる。

相談できる内容

- 商品やサービスの解約(クーリングオフ)
- 訪問販売のトラブル
- インターネットなどでの架空請求・不当請求
- 株や生命保険などの金融商品の苦情
- 多重債務
- 消費生活全般にわたる相談

平成27年度 決算の認定

一般会計

◆大丈夫か 財政運営

質問 少子高齢化が進む中、財政も厳しくなっているが、決算の総括は。

答弁 財務状況は借入金も少なく、今のところ問題はない。

今後も堅実な財務運営を継続しつつ、事業や実施時期を適切に判断しながら行っていく。

◆自殺対策は

質問 自殺対策緊急強化事業を実施したが、どのような内容だったのか。

答弁 事業は小中学校の教員や、保健福祉に携わる職員を対象に行った。

内容は、精神保健福祉士、臨床心理士を講師として、心の問題などに対応する指導を、各3回実施した。

◆修繕計画は

質問 安全対策として、町が管理する54の橋を調査した。

その結果と今後の修繕計画は。

答弁 54の橋のうち9橋は、問題ない。

残りの45橋も緊急に修繕の必要はないが、年3～5橋の修繕をしていく。

◆どこまで進んだのか

質問 砂子地内に計画している防災公園は、どこまで進んでいるのか。

答弁 平成27年度には、土地の鑑定評価と物件調査を行った。

今年度で測量業務を行い、平成30年度以降、用地の買収を進めていく計画である。

反対討論＝吉原経夫議員

昨年度の町制40周年事業の成果を、今年度以降に生かしていこうという考えが町長にはない。

これは町長の政治姿勢が間違っていることであり、反対する。

賛成討論＝横井良隆議員

町制40周年事業を契機に、町民同士の交流が深まった。

今でもチャレンジデーのTシャツを着て活動する町民を見かけるなど、大きな成果を挙げている。

予算全体では、子育て支援対策や防災対策事業を推進するための財源確保など、適切に処置されており、賛成する。

国民健康保険特別会計

◆受診率は

質問 病気を予防するため、特定健康診査は大切である。受診率は。

答弁 受診率は約30％だった。

今後は、電話連絡を入れるなど、受診率の向上に取り組んでいく。

反対討論＝吉原経夫議員

国は、低所得者の保険税を下げる目的で、財政安定化支援事業を行っている。

しかし、町は低所得者の保険税を下げることなく、結果として、一般会計からの繰入金を減らしており、到底、認めることはできないので、反対する。

賛成討論＝若山照洋議員

国民健康保険事業の安定化を図るため、一般会計から大きな金額の繰り入れを行い、財政基盤の強化とともに、低所得者だけでなく、加入者全体の税負担の緩和措置が図られている。

また、地域の医療保険として、住民が安心して医療を受けるための施策もなされており、賛成する。

お詫びと訂正

議会だより第151号（7月20日発行）の内容に誤りがありました。

2ページ「あれからどうなった」の文中「防犯カメラを設置した」を「防犯カメラを設置する」に改めます。

また、馬島駐輪場の防犯カメラは町が設置したものではなく、「海部ライオンズクラブ」により設置されたものでした。

ご迷惑をおかけしましたことを謹んでお詫びし、訂正します。

チェンジ・チャレンジ・パワーアップ！

～理想的な議会を目指して～

議会報告会を開催しました

- ●日　時　10月20日（木）午後7時
- ●場　所　公民館2階講義・会議室
- ●懇談会テーマ　子育てを中心とした『福祉』
- ●参加者　12人

今回、懇談会でテーマを設けました。

参加者からは、「参加人数が少ないのは、時間帯が悪いからでは」や、「子どもは増えているので、学童保育がもっと必要になってくると思うが」などという、ご意見をいただきました。

今回出されたご意見を大切にし、議員一同、これまで以上、精進に努めてまいります。

ずばり直言！　一般質問

９月議会の一般質問は、９月１２日に行い、４人の議員が町政をただしました。質問と答弁を要約してお知らせします。

被災者支援システムは運用できるのか

折橋盛男議員

大規模な自然災害が発生した時、本町の被災者支援システムは、運用できる状態になっているのか。

導入後の運用が、適切になされていなかったため、いざという時に十分使えなかった事例も発生している。

本町のシステムは、運用できるのか。

検討していく

町長　被災者支援システムは導入しているが、住民基本台帳と連動しているため、運用できていない。新たなセキュリティ対策の強化とネットワークの構築を検討している。

情報システムの強靭（きょうじん）性を踏まえて、今後、運用を検討したい。

中学校部活動のより健全な発展を

吉原経夫議員

文科省の通知によると、部活動において「しっかりと休養日を設けるなど、取組みを徹底することが不可欠である」と、強調している。

教育委員会として、中学校での部活動の現状を、どこまで把握しているのか。

また、朝の練習や長時間に及ぶ部活動を、どう考えているのか。

負担軽減に努めている

教育長　朝の練習は1時間程度、授業後の練習も1時間半程度にしているので、午後6時には下校している。また、夏休みなどの活動時間は、最大5時間程度にしたり、土日のどちらかは休みにして、教員の負担軽減にも努めている。

他に5問ありました。

総合防災訓練の強化を

後藤田麻美子議員

総合防災訓練で、避難所運営訓練を取り入れた自治体がある。狭い空間での避難所生活を想定して、間仕切りパーティションの訓練が有意義だったと聞く。

また、幼児から高齢者まで、楽しんで参加できる防災祭りを行った地域もある。

本町でも、ぜひ取り入れてもらいたい。

訓練に主眼をおく

町長　総合防災訓練は、メイン会場を中心にさまざまな訓練を行っている。今年度は、小学生を対象にしたスタンプラリーや、防災クイズなども導入した。

防災訓練は、より実践的な訓練に主眼を置いて、今後も行っていく。

資源回収を休日にも

林　健児議員

役場前の資源物回収拠点は、平日の9時から17時まで開放しているが、休日は利用できない。

共働き世帯や単身者からも、休日に開放してほしいとの声を多く聞く。

住民サービスの向上のため、大変好評な資源物回収拠点を、休日も開放できるように考えてもらいたい。

実現に向けて検討

町長　休日の開放は、搬出された資源を回収する業者の手配、資源物回収拠点の整理を行う人員の確保などの問題があり、さらに周辺住民への配慮も必要である。

それらを考慮しながら、できる限り実現に向けて検討していきたい。

意見書

下記の意見書を可決し、国の関係機関に提出しましたので、要旨をお知らせします。

■義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は３分の１に引き下げられ、自治体財政を圧迫している。子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが、憲法上の要請である。

義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率２分の１への復元にむけて、十分な教育予算を確保することを求める。

■国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

国の責務と私学の重要性にかんがみ、父母負担の公私格差を是正するための就学支援金を一層拡充すること。

また、私立学校振興助成法に基づく国庫補助制度を堅持し、私立高校以下の国庫補助金とそれに伴う地方交付税交付金を充実し、経常費補助の一層の拡充を図ることを求める。

12月定例会　日程（案）

６日（火）開会　上程・提案説明
１２日（月）一般質問
１３日（火）質疑等
１５日（木）総務教育常任委員会
１６日（金）福祉建設常任委員会
２２日（木）採決　閉会

※開会は午前10時です。
日程は、変更となる場合があります。
定例会日程は、町のホームページでも確認していただけます。

人事案件

教育長
平野　香代子氏

任期は、平成28年10月1日から3年間です。

	議　　案	賛成	反対	議決結果
臨時会 7月	平成２８年度　一般会計補正予算（第２号）	１０	1	可決
9月定例会	放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の制定	１１	0	可決
	使用料及び手数料条例の一部改正	１１	0	可決
	平成２８年度　一般会計補正予算（第３号）	１１	0	可決
	平成２８年度　介護保険特別会計補正予算（第１号）	１１	0	可決
	平成２８年度　後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	１１	0	可決
	平成２７年度　一般会計決算	１０	1	認定
	平成２７年度　国民健康保険特別会計決算	１０	1	認定
	平成２７年度　土地取得特別会計決算	１１	0	認定
	平成２７年度　介護保険特別会計決算	１１	0	認定
	平成２７年度　公共下水道事業特別会計決算	１０	1	認定
	平成２７年度　後期高齢者医療特別会計決算	１０	1	認定
	工事請負契約（東部児童クラブ室新築工事）	１１	0	可決
	工事請負契約（公共下水道工事）	１１	0	可決
	物品購入契約（小型動力ポンプ付積載車）	１１	0	可決
	津島市と大治町との間の消費生活相談等の事務の委託に関する規約の制定	１１	0	可決
	教育長の任命（平野香代子氏）	１１	0	同意
	待機児童問題解消のために保育所を増やし、保育士の待遇改善を政府に求める意見書	2	9	否決
	介護・障害福祉従事者の処遇改善を政府に求める意見書	2	9	否決
	義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	１１	0	可決
	国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	１１	0	可決

議会活動報告

～主な活動についてお知らせします～

7月

タブレット導入　関市視察　7月13日

平成25年9月からタブレットを本格導入している、岐阜県関市議会を訪問し、タブレット導入の実情を調査しました。

導入の効果は、年間8～9万枚の紙資料がなくなり、事務の効率化とコスト削減ができたことです。

各地の議会で、デジタル化が進んでいます。議論を重ねながら、導入に向けて結論を出していきます。

県町村議会広報研修会　7月29日

●テーマ　第1部　議会報の基本と編集技術
　　第2部　議会広報クリニック
●講　師　芳野政明氏（広報コンサルタント）

議会広報特別委員会の委員6人で研修会に参加しました。

住民の興味・関心に応えるような企画をし、皆さんが読みたくなる「議会だより」を目指します。

8月

総合防災訓練　8月21日

今年は、大治西小学校を主会場として開催されました。

ロープワーク訓練や、応急訓練などが行われた中、中部電力の電力復旧車両や自衛隊の除染車も導入されるなど、本格的な訓練でした。

また、主会場では小学生を対象にしたスタンプラリーと防災クイズを行い、地区会場では、簡易トイレ組み立て訓練を行うなど、新しい試みも実施されました。

南海トラフ巨大地震の発生が危ぶまれる中、「自分たちの身は、自分たちで守る」という防災意識の向上は不可欠です。

災害に強いまちづくりを進めるために、微力ながらしっかりと活動をしていきたいと思います。

9月

東栄町議会　来訪　9月21日

●来訪者　原田議長・伊藤副議長・栗嶋事務局長

東栄町と大治町は、平成25年2月7日に「災害時における相互応援協定」を締結した経緯から交流しています。

大治町の重点施策である災害対策や、子育て支援に関する施設を回りました。

東栄町は、奥三河の山間部に位置し、花祭（はなまつり）で有名な町です。

町域の91％が山林・原野で占められており、人口は、大治町の約10分の1。

まちの環境は、本町と大きく違いますが、これを利点として、今後もさらに交流を深め、魅力あるまちづくりにつなげていきたいと思います。

まちかど インタビュー　No.45

大治太鼓尾張一座の打頭（うちがしら）若山　和（かず）さんにお話を伺いました。

―尾張一座とはどのような活動をしていますか

2000年に大治太鼓保存会の指導者集団として発足しました。

ステージパフォーマンスも意識した打法を取り入れ、毎年、定期公演を行っています。

大治太鼓保存会の指導や、津島祭りなど、近隣の祭りの太鼓演奏にも参加しています。

また、ずいよう幼稚園や、町内3小学校でも教えています。

日比谷公園で行われた「日韓交流おまつり2014」で、日本の太鼓を代表して演奏しました。

昨年、愛知県で行われた全国都市緑化祭の式典にも参加しました。

―昨年から交流が始まった北海道美唄市の歌舞裸（かぶら）まつりに招待されましたが

北海道というと大治町から遠く、尾張の芸能が受け入れられるか、心配していました。

しかし、演奏が始まると最初はまばらだった客席が、徐々に埋まりました。尾張地方の「神来舞（かぐらまい）」の演奏では、立ち見が出るなど、沢山の声援、拍手を送っていただきました。

太鼓の運搬など、長距離の移動は予想以上に大変でしたが、演奏はとても楽しかったです。

―こども和太鼓フェスティバルが開催されますが

今年度、第31回国民文化祭が愛知県で開催されます。そのイベントの一つとして、大治町では「こども和太鼓フェスティバル」が、11月27日に開催されます。

全国から子どもたちが大治町に集結し、和太鼓を通じて交流の輪を広げていくことを目的としています。

19団体が熱演を繰り広げ、全国から和太鼓ファンが来場するので、大治町を知っていただくこともできます。大治太鼓としては、おもてなしの準備に奮闘しています。

―最後に今後の展望など

まだまだ未熟な成長過程ですので、ここで立ち止まらず、世界の人々に尾張の芸能や、和太鼓の素晴らしさを伝えていきたいです。

今後も私たちの原点である、町内のお祭りの太鼓打ちを絶やさぬよう、努力していきたいと思います。

日本の伝統的な祭りには和太鼓は欠かせません。世界の人々に、和太鼓の素晴らしさを広めていただけるよう、これからも頑張ってください。

暫時休憩

▼江戸時代初期、大治町では柿の栽培が盛んだったようだ。

▼柿屋敷があり、尾張藩主に納められていた。

当時、柿は高級品だったらしい。

▼柿の実の
　あまきもありぬ
　柿の実の
　渋きもありぬ
　渋きぞうまき

正岡子規

▼甘柿は、渋柿を改良して甘柿になった。

いろいろな工夫を通じて、甘い柿が開発された。

▼甘い柿しか口にしたことがなければ、渋柿の存在も理解されない。

▼今ある存在の背景をしっかりと理解し、町の発展に努めたい。